

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

道路橋りょう管理運営事業

【 道路整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設の保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路橋りょう管理運営事業

・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,614	41,614	40,517		1,097

主な支出内訳

・道路橋りょう管理運営事業

土木積算総合システム保守委託料

9,934

土木積算総合システム機器・複写機賃借料

29,886

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-10 道路橋りょう管理運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	327 道路橋りょう管理運営事業					
主管課	道路整備課	関連課					
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	道路・橋りょうの良好な維持管理						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	40,517千円	41,866千円	41,769千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	40,517千円	41,866千円	41,769千円			
	人員配置数	2.0人	1.9人	1.6人			
	人件費	18,755千円	19,100千円	15,593千円			
事務事業 運営経費	総事業費	59,272千円	60,966千円	57,362円			
	市民1人当 りの経費	336円	347円	328円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※土木積算システムについて、運用課(4部11課)の全てを総括し、管理運営業務を担っており、事務が繁忙となっている。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※運用課(4部11課)の協力体性の強化により、全体的な改善を図った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※関連課の拡大に伴い、業務内容も多岐にわたることから、活用強化のためのソフト選定に係る調整等、総括、管理運営事務が大きい負担となっている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※関連各課の状況について、情報推進課と協議調整を図る。(平成21年度運用課数7部15課に拡大)

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	設計・積算等を行う上、現行システムは必須なシステムであることから継続するが、関連各課との管理・運営面の改善を検討する必要がある。				
担当課長氏名:		道路整備課長 坂巻龍馬			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	現状のまま、今後も継続する。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		